

仏教精神によるあらゆる命を大切にする教育。

真和高校 創立60周年	1
進路指導	7
3年間のカリキュラム	9
6年間のカリキュラム	15
スクールライフ	21
学寮について	25
学費について	26

SHINWA
60th anniversary



理事長・学園長
上田 祐規

真和中学・高等学校は本年度、創立60周年を迎えます。本校は法然上人(1133-1212)によって開かれた浄土宗の宗門学校であり、教育の根幹は「報恩感謝」合掌の教育であります。

中高一貫、大学進学、学寮教育のより一層の充実を目標に日々精進しています。学力増強のみならず部活動も盛んで多くの成果を挙げています。さまざまな可能性を持った特色ある生徒も多く、学校生活を明るく楽しく過ごしています。

創立60年を一つの目標として教育等の環境整備にも力を尽くしてまいりました。次年度更に改善に向けて研究中であります。教職員生徒一丸となって心豊かな学校生活を送っています。



学校長
芥川 隆淨

浄土宗の宗祖法然上人は、阿彌陀仏の本願に真実の道を見出し、人々に大きな希望と勇気を与えられました。また、聖徳太子は「唯仏是真」「以和為貴」という言葉を座右の銘とされました。本校の校名はこれらの言葉に由来するものです。

真和の教育は、「誠・信・望」のもとに、明朗にして「和」を重んずる豊かな人間性と、進んで「真」を追求する向上心とをあわせ持ち、将来、社会のリーダーとなる人材を育成することを建学の精神としています。

誠

誠実をもって
一貫すること

信

信念を養い
明朗なること

望

希望を持ち
努力すること

校訓

各教室に掲示してある校訓です。三つの文字が伝える意味は、入学から卒業までその年その年により、生徒の皆さんに違う意味を語りかけてくれます。

合掌

みほとけの みめぐみにより

きよう ひとひ 今日の日を 人としての過なく

たがい むつ 互に睦み 互に譲り

おの わざ はげ 己が業を励みて 世の文化につとめ

よ ひかり ささめ 社会に光明を捧げむ

みほとけの加祐を給へ



毎朝、教室はもとより、職員室でも手を合わせ心静かに唱えます。仏教精神を基盤にしたよりよい暮らしを具現化する指針を示唆してくれます。